

特集 札幌大学学術情報リポジトリ — 研究成果を世界に発信

札幌大学学術情報リポジトリとは

札幌大学で行われる教育・研究活動によってつくられた様々な成果(学術論文や学術資料等)を、電子データの形で収集・保存し、インターネットを介して学内外に無償で広く公開するためのシステムです。図書館は図書や雑誌等紙媒体の学術情報の収集・保存と提供から、データベースや電子ジャーナル等、インターネット上に存在するデジタル情報の提供窓口へと機能を広げてきました。そのような状況にあって、学内でつくられる学術情報を発信し、本学における研究成果を社会へ還元するための機関リポジトリとして、学術情報リポジトリを構築しました。

システム概要

国立情報学研究所が2012年4月からサービスを開始した共用リポジトリサービス=JAIRO Cloud (ジャイロ・クラウド)を利用しています。JAIRO Cloud は、国立情報学研究所がシステムのハードウェア、ソフトウェア、ネットワークを提供・管理して、札幌大学ではコンテンツの登録・公開を主にしています。

コンテンツ

現在、学術情報リポジトリで提供している主なコンテンツは紀要等の文献です。既刊については国立情報学研究所の学術雑誌公開支援事業により創刊号から遡及して全て電子化を行いました。新刊については紀要のPDFファイルを収集し、図書館でコンテンツの識別や検索等に用いるメタデータを付与して登録しています。

オープン・アクセスとOAI-PMH

学術情報リポジトリで提供しているコンテンツを利用するとき、ほとんどの場合ライセンスの制約がなく、自由に無償で利用できます。これをオープン・アクセスと言います。また、メタデータは国立情報学研究所の学術情報検索サービス CiNii (サイニイ) で採用しているOAI-PMH (Open Archives Initiative - Protocol for Metadata Harvesting) という国際標準のプロトコルに準じて付与していますので、CiNiiやGoogle Scholarからも検索できるようになり、札幌大学のコンテンツがより多くの人の目に触れるという視認性が高まります。

↓ 図1.学術情報リポジトリ トップページ



← 図2. アイテムリスト

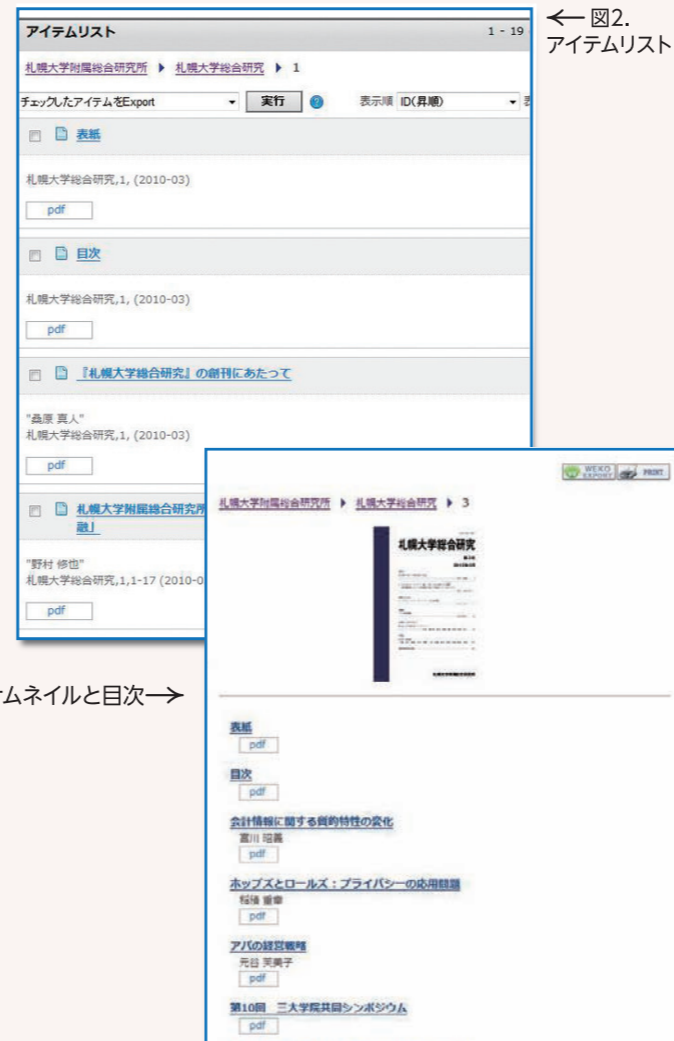


図3.サムネイルと目次→

学術情報リポジトリ トップページ (図1)

中央カラムの「学術情報リポジトリ」モジュールが本体で、コンテンツの検索は左欄から行います。検索方法は、「キーワード検索」と「インデックスツリー」を辿る方法の2種類あります。

キーワード検索

「キーワード検索」は、「簡易検索」と「全文検索」を選択できます。「簡易検索」はメタデータで付与したタイトル、著者名、収録誌等の語句から検索します。「全文検索」は簡易検索の機能に加えて本文中の語句も検索対象になります。ただし、「全文検索」が可能なコンテンツは札幌大学で新規に登録したものに限りです。「検索結果」は中央欄にアイテム(=単文文献)リストで表示されます。

インデックスツリー

「インデックスツリー」には、リポジトリに登録されている紀要名等がリストアップされています。一部、研究所等の刊行物については機関名の下にまとめています。[+]記号をクリックするとツリー状にインデックスが展開します。紀要内容を一覧したいときや、収録誌や巻号が分かっている文献を探すときには便利です。下にインデックスがあるときは中央欄にインデックスリストが表示されます。最下位のインデックスをクリックすると中央欄に「アイテムリスト」(図2)または紀要等のサムネイルと目次(図3)が表示されます。

インデックス (図4)

「アイテムリスト」または「目次」からアイテムを選択すると中央欄に「インデックス」が表示されます。それは図書館が付与したメタデータの内容です。タイトルや著者名、収録されている雑誌名及び巻号、発行年などの書誌情報です。

また、PDF本文へのリンクがあり、クリックするとPDF本文が表示されます(図5)。PDF本文は印刷やダウンロードが可能です。

また、「インデックス」にはPermalink というアイテム固有のURLがあります。それはアイテムが増えたり、インデックス構成が変わったりしてもURLは変化せず、恒久的に使えます。

← 図4.インデックス



その他

トップページの中央カラムの「ランキング」タブをクリックすると、過去180日間で「最も閲覧されたアイテム」と「最もダウンロードされたアイテム」が、それぞれ10件ずつ表示されます。また、右カラムには、「お知らせ」、「リンク」、「カウンタ」モジュールがあります。

↓ 図5.PDF本文

